

授業科目	*ソーシャルワーク演習					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	通山 久仁子、岡田 和敏、梶原 浩介、文屋 典子、中川 美幸						
授業概要	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、①ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、②ソーシャルワークの価値規範と倫理、③ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学びます。本演習では、実務家教員として、医療ソーシャルワーカー等の相談援助の実務経験のある教員が、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行います。						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、プレゼンテーション、ロールプレイ		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"><li>1 自己覚知について、実践的に理解できる。</li><li>2 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。</li><li>3 基本的な面接技術について、実践的に理解できる。</li><li>4 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。</li><li>5 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。</li><li>6 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。</li><li>7 プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。</li></ul>
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"><li>1 自己覚知について、実践的に理解し、習得できる。</li><li>2 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li><li>3 基本的な面接技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li><li>4 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li><li>5 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li><li>6 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li><li>7 プレゼンテーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li></ul>

## 評価方法・評価割合

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	0	
その他	50%	演習への参加意欲・態度、リーダーシップ・協力度

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	WE21226J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
提示された課題の事前学習、各回のふり返り、関連する内容の調べ学習								1	

第1回	オリエンテーション（全教員） 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について解説する。
第2回	自己覚知 1（全教員） 自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。
第3回	自己覚知 2（全教員） 自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。
第4回	基本的なコミュニケーション技術 1（全教員） 非言語的コミュニケーション（表情、態度、身振り、位置取り等）について、実践的に学ぶ。
第5回	基本的なコミュニケーション技術 2（全教員） 言語的コミュニケーション（質問、促し等）について、実践的に学ぶ。
第6回	基本的な面接技術 1（全教員） 面接の構造化、場の設定（面接室、生活場面、自宅等）、ツールの活用（電話、e-mail等）について、実践的に学ぶ。
第7回	基本的な面接技術 2（全教員） 基本的な応答技法（言い換え、感情の反射等）について、実践的に学ぶ。
第8回	基本的な面接技術 3（全教員） 基本的な応答技法（繰り返し、要約等）について、実践的に学ぶ。
第9回	グループダイナミクスの活用（全教員） グループワークの構成（グループリーダー・コーディネーター・グループメンバー）、グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）について、実践的に学ぶ。
第10回	ソーシャルワークの価値と視点（全教員） ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。
第11回	ソーシャルワークの展開過程 1（全教員） ソーシャルワークの展開過程の全体像とソーシャルワーカーの役割について、実践的に学ぶ。
第12回	ソーシャルワークの展開過程 2（全教員） ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。
第13回	ソーシャルワークの展開過程 3・ソーシャルワークの記録（全教員） アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。
第14回	ソーシャルワークの展開過程 4・プレゼンテーション技術（全教員） プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。
第15回	ソーシャルワークの展開過程 5（全教員） 支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。
テキスト	担当教員がプリントを配布し、参考図書等は適宜紹介します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。
課題に対するフィード	フィードバックの方法の詳細は、担当教員が授業内で提示します。

バックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。 社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。

